

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：モレキュラーシーブ 5A 1/16
SDS No.：GHS_04174_A_J-7
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用
供給者の会社名称：ナカライテスク株式会社
住所：京都市中京区二条通烏丸西入東玉屋町498
担当部署：京都工場
電話番号：075-932-1755
FAX：075-932-4872

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2
生殖細胞変異原性：区分 2
発がん性：区分 1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1(呼吸器)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2(免疫系、呼吸器、腎臓)

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H319-強い眼刺激
H341-遺伝性疾患のおそれの疑い
H350-発がんのおそれ
H372-長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器)
H373-長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(免疫系、呼吸器、腎臓)

注意書き

安全対策

P202-全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260-粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264-取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
P280-保護眼鏡/保護面を着用すること。
P280-指定された個人用保護具を使用すること。
P270-この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P314-気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
P308 + P313-ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
P305 + P351 + P338-眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313-眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

P405-施錠して保管すること。

廃棄

P501-内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	化学式	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
合成ゼオライト	$M_2/nO \cdot Al_2O_3 \cdot xSiO_2 \cdot yH_2O$ (M: 金属カチオン n: 原子価)	69912-79-4	> 70	1-23; 1-189; 1-495; 1-548
クレイバインダー (粘土鉱物)	-	999999-99-4	< 30	-
結晶質シリカ (石英)	SiO ₂	14808-60-7	< 5.0	1-548

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

GHS分類に寄与する不純物：

-

安定化添加物：

-

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸が弱かったり止っている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。必要に応じて医師の処置を受ける。

『2. 危険有害性の要約』に記載の応急措置も参照すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類や靴などをすべて取り除く。直ちに多量の水で洗う。必要に応じて医師の処置を受ける。

『2. 危険有害性の要約』に記載の応急措置も参照すること。

眼に入った場合

直ちに水で最低15分間洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。必要に応じて医師の処置を受ける。

腐食性の物質の場合は寸秒でも早く洗眼を始め、入った物質を完全に洗い流す必要がある。洗眼を始めるのが遅れると障害を増大させるおそれがある。

『2. 危険有害性の要約』に記載の応急措置も参照すること。

飲み込んだ場合

水で口をすすぐ。必要に応じて医師の処置を受ける。

『2. 危険有害性の要約』に記載の応急措置も参照すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

データなし

応急措置をする者の保護

ゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

データなし



5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

この製品自体は、燃焼しない。周辺の状況に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

火災時の特有の危険有害性

火災の際、熱分解又は燃焼により刺激性及び/又は有害性の強いガスが発生するおそれがある。
消火水や希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火作業は、風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

この物質を環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

粉じんが飛散しないようにする。

二次災害の防止策

危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取り扱いは、換気のよい場所で行う。粉塵、ミスト、蒸気、ガスなどが発生するおそれがある場合は、密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。

容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。

眼、皮膚、衣類に付けない。

適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項

みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。

『2. 危険有害性の要約』に記載の安全対策も参照すること。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

『2. 危険有害性の要約』に記載の保管も参照すること。

-



- 〈適切な保管条件〉
直射日光を避け、なるべく涼しい場所に容器を密閉して保管する。
- 避けるべき保管条件
混触危険物質から離して保管する。
- 安全な容器包装材料
ポリエチレン, ポリプロピレン
など

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度：未設定

許容濃度

(結晶質シリカ(石英))

日本産衛学会(2006)(結晶質シリカ) 0.03mg/m³(吸入性粉塵)

(結晶質シリカ(石英))

ACGIH(2010) TWA: 0.025mg/m³(R)(肺線維症; 肺がん)

ばく露防止

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具、不浸透性の保護手袋、保護眼鏡または安全ゴーグル、保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：うすい褐色

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点：データなし

沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：燃焼しない

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：8 - 12 (10% スラリー)

動粘性率：データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：600 - 900 g/L

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：データなし

その他のデータなし



10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。

危険有害反応可能性

水と接触すると発熱する。

避けるべき条件

日光、熱、混触危険物質との接触

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分 2, 強い眼刺激

(合成ゼオライト)

ラビット 中等度の刺激 (SIDS, 2006; DFGOT vol.56, 2014)

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性

区分 2, 遺伝性疾患のおそれの疑い

(結晶質シリカ(石英))

cat. 2; SIDS, 2013

発がん性

区分 1A, 発がんのおそれ

(結晶質シリカ(石英))

cat.1A; IARC Gr. 1 (IARC 100C, 2012 et al.)

[IARC]

(合成ゼオライト)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(結晶質シリカ(石英))

Group 1 : ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(結晶質シリカ(石英))

A2(2010) : ヒト発がん性の疑いがある

[日本産衛学会]

(結晶質シリカ(石英))

第1群: ヒトに対して発がん性があると判断できる物質

[NTP]

(結晶質シリカ(石英))

Known : ヒト発がん性があることが知られている物質

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし



特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[区分1]

(合成ゼオライト)

呼吸器

(結晶質シリカ(石英))

免疫系、呼吸器、腎臓

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

(合成ゼオライト)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=377.17mg/L/96hr (Aquire, 2016)

(結晶質シリカ(石英))

甲殻類(オオミジンコ) LL50 > 10000mg/L (SIDS, 2013)

水生環境有害性 長期(慢性)

(合成ゼオライト)

甲殻類(オオミジンコ) NOEC=200mg/L/21day (Aquire, 2016)

水溶解度

(結晶質シリカ(石英))

溶けない (ICSC, 2010)

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)



国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

労働安全衛生法

特化則：該当しない

有機則：該当しない

粉じん障害防止規則（令19号）

合成ゼオライト；結晶質シリカ（石英）

名称表示危険/有害物

結晶質シリカ（石英）（別表第9の165の2）

名称通知危険/有害物

結晶質シリカ（石英）（別表第9の165の2）

がん原性がある物（規則第577条の2第5項）

結晶質シリカ（石英）

化学物質管理促進（PRTR）法

該当しない

消防法：該当しない

化審法：特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない

じん肺法

合成ゼオライト；結晶質シリカ（石英）

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法：該当しない

航空法：該当しない

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版（2024年）

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information

責任の限定について

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。

記載内容は特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。全ての化学品には未知の危険性がありますので、取扱いにはご注意ください。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ



て改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。